

「家の前からバスに乗り、冬の日本温泉旅行に出かけよう」

釜門フェリー50周年企画、首都圏-釜山-現地温泉ノンストップ送迎バスがセット

釜山と下関間を繋ぐ国際カーフェリー一船社の釜門フェリーが、昨年から続いている創立50周年企画のフィナーレを飾る特別商品となる「冬の温泉旅行は釜門が名物！」商品を発売、公式販売に入った。

「冬の温泉旅行は釜門が名物！」商品は、出港地である釜山に向かうアクセスの悪さを改善するために、ソウルと首都圏(京畿道)から釜山まで、利用客が一度に移動できるようにノンストップ送迎バスを旅行商品の中に含んだのが特徴だ。

ノンストップ送迎バスは、ソウルと首都圏の顧客層をターゲットにして



西部、中部、東部に分けたソウルと首都圏(京畿道)から釜山まで、手軽に移動できるという利便性に加え、釜山内観光地(太宗台、チャガルチ市場など)が含まれているので、日本旅行に加え、釜山地方観光まで楽しめるというのが釜門フェリー側の説明だ。一般的なパッケージ商品より低コストで、ソウル・釜山間の往復交通費、現地観光はもちろん、国内観光まで、さらに充実した日程で旅行を楽しむことができるだけ加えた。

「冬の温泉旅行は釜門が名物！」商品の日程は釜門フェリーを利用して下関港に到着した後、東洋最大の石灰洞窟である秋吉洞窟、CNNが選定した美しい景色を誇る名所として選ばれた元乃隅稻成神社などを見てから、600年の伝統を誇る湯本温泉街にある最高級旅館にて本格的な懐石ディナーと浴衣体験、そして温泉を楽しむコースにて

構成されており、商品価格は3泊4日の日程で299,000ウォン。国内の主要大型旅行会社と、各地域別の旅行代理店を通じて予約することができる。

一方、釜門フェリーは最近悪化した日韓関係でも、新規旅行商品の開発に拍車をかけており、2020年新年企画商品として個人の自由旅行専用バスとして、日本の小都市旅行が楽しめる「山口One Dayバスツアーア」を、1月9日にリリースし、毎週火・木・金・土にて1日1回、運行している。この「山口One Dayバスツアーア」の料金は火・木・金基準で49,000ウォン、土曜日は59,000ウォンだ。

| 李相直記者

ピーチ航空、「一緒にするともっと安い」同伴割引特価プロモーション

1月17日まで、仁川-東京、大阪、沖縄25%割引特価

日本の格安航空会社(LCC)であるピーチ航空が年末年始のキャンペーンとして仁川空港出発路線を対象に航空運賃を最低5万6900ウォンから販売する同伴者割引特価「一緒にするともっと安い」プロモーションを実施する。

今回のプロモーションは、仁川-東京(羽田)、仁川-大阪(関西)、仁川-沖縄(那覇)の計3路線に2人単位で同伴予約する場合25%割引された特別運賃が提供され、1人当たりの最

低片道運賃が仁川-大阪5万6900ウォンから、仁川-沖縄6万4250ウォンから、仁川-東京7万9250ウォンに適用される。

販売期間は2020年1月17日まで、搭乗期間は19年12月24日から2020年3月28日までの運航便だ。ただし、仁川-東京路線は2020年1月31日までとなっており、仁川-沖縄路線は2020年1月28日から2月22日まで運休する。販売条件は韓国出発の支払い手数

料、空港使用料などが含まれている総額運賃目安でカップル単位で予約するのみに適用されるため、追加人数については通常料金が適用される。

ピーチ航空は現在、仁川-大阪(関西)区間に毎日4回、釜山-大阪、仁川-東京(羽田)、および仁川-沖縄



(那覇)区間にそれぞれ毎日1回運航して、韓国と日本の間に毎日合計4つのルート7便を運航している。

| 池淑記者

12月、日本冬シーズン地域を中心に訪日客増加

主要航空会社、オンシーズン路線供給拡大の影響、前月比11.2%が増加

「ボイコットジャパン」の余波から日本路線の利用客減少が続く中、最近冬休みシーズンを迎える、札幌、沖縄路線など運航再開路線を中心に日本を訪れる旅行者の数が増加したことが分かった。

韓国政府国土交通省の航空統計によると、昨年12月の一ヶ月間、国内の航空会社の日本路線の旅客数は合計99万1805人で、前年の同期間172万1461人に比べ42.4%減少した数値だ。一方、月別の比較では、前月の11月(89万1851人)に比べ11.2%増えたことが分かった。

特に金海国際空港からの旅客増加率が高かった。金海空港は12月に12万9576人を輸送したが、前月(10万2367人)に比べて26.6%の乗客数が増加した。続いて仁川国際空港が前月比12.7%と増加率が高く、金浦国際空港

も旅客数が1.6%増加した。

一方、その他の地方空港での日本路線の旅客数は減少が続いた。清州国際空港は12月に入つてから、日本路線が全て無くなつたことから、日本旅客輸送が0となり、大邱国際空港と済州国際空港は、前月に比べそれぞれ27.9%、8.8%、乗客数が減少した。

12月の一ヶ月間、最も多くの乗客が行き来した日本路線は25万4723人の関西だった。成田が23万546人でその後を継ぎ、福岡は20万0790人だった。次に、羽田(10万4730人)、名古屋(7万4717人)、札幌(4万3656人)、沖縄

(2万3949人)などの順となった。

最近再び日本路線の乗客数が増えたことは、運航台数の拡大によるものと分析される。12月の一ヶ月間、日本路線運航便数は6663便で、前月(5759便)比15.7%が増えた。増加幅が最も大きかった金海空港の場合、前月比24.9%運航便数が増え、仁川空港も18.0%拡大した。

これまで航空業界は不買運動の影響から日本路線を削減し、中国、台湾、東南アジア地域などへと路線を拡大運営してきた。このような中、一部の韓国航空会社が冬季シーズンに合わせて一時的に日本路線の運航再開を実施し、このような供給拡大が利用客拡大につながったものと分析される。

航空会社別には大韓航空が11月から仁川～小松・鹿児島への2路線の運航再開に入り、イースター航空も12月初めから仁川～札幌・沖縄・宮崎路線運航を再開した。エアブサンも12月末から金海～札幌路線運航を実施している。

航空業界は、運航が再開された地域のすべてが冬場に特化された人気旅行先だとし、伝統的に冬の需要が高かつたところであるだけに限定的だとしても、訪日客増加の要因につながったと分析している一方、韓国内の日本不買運動が続いているため、この増加傾向が続くかどうかはまだ未知数だと伝えた。

| 大成直子記者

日本を旅行するときに
韓国人が最初に読む情報紙

日本を 여행하는 사람이
먼저 읽는 정보지
 바로 ‘일본관광신문’입니다.

韓国の約200の日本専門旅行社が日本観光新聞を通して日本全国の観光情報を得ています。
日本への旅行を計画する人は、日本観光新聞を通して旅行地や旅行商品を選びます。
日本全国の旅行情報を誰よりも正確でスピーディーに読者へお届けする日本観光新聞で、
貴地域の観光地を韓国に紹介してみませんか？

전국 약 200개 일본전문여행사가 일본관광신문을 통해 일본 전국의 관광정보를 얻고 있습니다.
일본으로 여행을 계획하는 사람은 일본관광신문을 통해 여행지나 여행상품을 선택합니다.
일본 전국의 여행정보를 누구보다 정확하고 신속하게 독자에게 보내드리는 일본관광신문,
이제, 일본관광신문 ONLINE을 통해 더욱 가까이 만나보시기 바랍니다.

広告のお問い合わせ
+82-2-737-1122



「韓国好き」 集まれ！

韓国観光プロガー団大募集！

韓国旅行が大好きな方々にお知らせです。

韓国観光の様々な魅力を紹介する月刊紙「コリアトラベル新聞」が、韓国の地方観光の魅力をオンラインで情報発信してくださる「プロガー団」を運営することとなり、それに伴い韓国と日本の間の橋渡しの役割をしてくれる情熱的な人材を募集します。

地方ならではの文化、料理、お祭り、そしてなにより温かい人情を感じられる韓国の魅力について、一緒に取材してくださる「コリアトラベル新聞・オンラインサポートターズ」への参加は、パワープロガーではなくても、「韓国が好き」な皆様なら応募可能です。たくさんの方々からの応募をお待ちしています！

こんな方を募集します！

1. ブログやSNS(facebook、ツイッター、インスタグラム等)を運営している方
2. 韓国旅行が好きな方
3. 有意義な情報、楽しい情報をたくさんの人たちと共有したい方
4. 60歳までの健康な男女(韓国の地方旅に支障がない方)

プロガー団にはこんな特典が！

1. 韓国自治体が実施するプロガー団招待行事に優先的に参加可能
2. コリアトラベル新聞プロガ団として名刺提供

プロガ団として活躍を希望される方はメールにて、
①お名前、②住所、③年齢、④職業、⑤ブログ(SNS)アドレス、
⑥できれば顔写真、⑦参加動機を記入して応募ください。
E-mail : jtn@japanpr.com (担当: 加藤)

コリアトラベル新聞 www.koreapr.jp



日本を旅行するときに
韓国人が最初に読む情報紙
 바로 ‘일본관광신문’입니다.

